



ゆめぴりかコンテスト2025が開催されました！



後志地区コンテスト

11月4日、倶知安町のホテル第一会館にて、2025後志地区「ゆめぴりか」コンテストが開催されました。本コンテストは、各産地が技術を競いながら更なる結束を強め、ゆめぴりかの美味しさを追求することを目的に2015年から開催されています。

当日は、4JA6地区（JAきょうわ、JA新おたる、JAよいち、JAようてい蘭越地区・ニセコ地区・倶知安地区）から令和7年産ゆめぴりかが出品されました。洗

米方法・加水率・浸漬時間を同条件とし炊飯のうえ、炊き立てをブラインドで審査しました。今回は、最も食味評価が高かった最優秀地区として、JAようてい倶知安地区が2年連続で選ばれました。また、基準を満たした中でも最も評価が高かったJAようてい蘭越地区は、昨年に続き全道コンテストに出品されました。

【担当：大鐘】



最優秀地区に選ばれたJAようてい 倶知安地区の皆さま



全道コンテスト出品されたJAようてい 蘭越地区の皆さま

全道コンテスト

11月19日、ホテルモントレエーデルホフ札幌にて「ゆめぴりかコンテスト2025」（全道コンテスト）が開催され、後志地区の代表に選ばれた「JAようてい蘭越地区」のゆめぴりかが出品されました。

当日は、道内7地区（道南・後志・日胆・石狩・空知・留萌・上川）より各地区コンテストにて代表に選ばれたゆめぴりかが出品され、米や食の専門家7名によるブラインド審査が行われました。審査の結果、最高金賞は空知地区の「JAそらち南」となり、当JAは惜し

くも受賞には至りませんでした。しかし、全道コンテストに出品し、他地区と競い合えたことを誇りとし、今後も引き続き「ゆめぴりか」の品質・食味向上に努めてまいります。

また、コンテスト後には10年連続で良質米生産の表彰を受けた生産者「ゆめぴりかの巨匠」への表彰式も行われ、倶知安地区の石田祥二さんが表彰されました。

【担当：大鐘】



表彰式の様子